

リンゴ「ふじ」の果実硬度の低下は満開日が早い年に起こりやすい

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－リンゴ－栽培

2 担当者名

渡邊善仁、遠藤敦史、南春菜、三田村諭、佐久間宣昭

3 要旨

リンゴ「ふじ」は貯蔵性が高いことから、冷蔵貯蔵等により長期出荷がなされている。果実硬度の低下は貯蔵性に影響するため、栽培面での課題となっている。そこで、生育状況、果実品質を年次ごとに比較した結果、果実硬度の低下は満開日が早い年に起こりやすく、9月下旬頃からみられるようになる。

- (1) 1995年から2020年までに果実硬度が13lbs.を下回った年は16回あり、その年は満開日が早い傾向にあった(図1)。
- (2) 果実硬度の低下は、品質調査開始時の9月下旬からみられた(図2)。

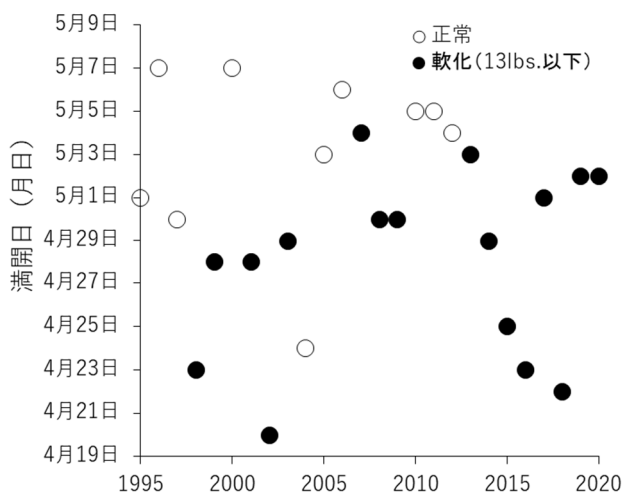


図1 満開日の比較

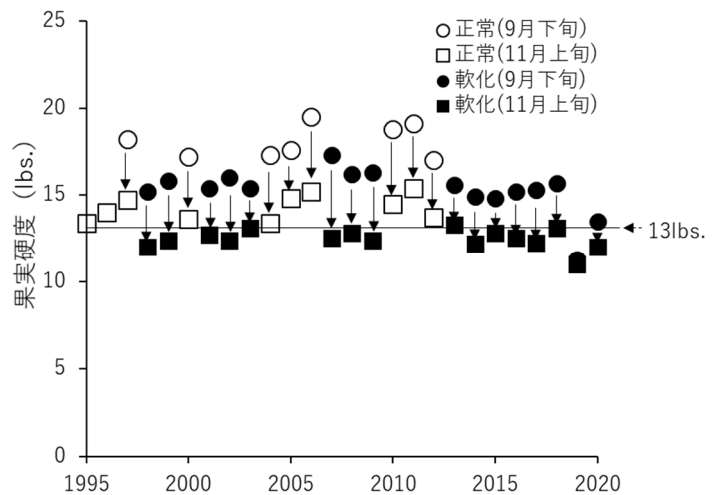


図2 果実硬度の比較

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成7年～令和2年度
- (2) 研究課題名 果樹の安定生産を支援する生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) Toshihiko Sugiura *et al.*, Change in the taste and textural attributes of apples in response to climate change. Scientific Reports 3, Article number:2418(2013).
- (2) 農文協, 農業技術体系, 果樹編,第1-2巻, リンゴ.